

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/ihtamanagavama/>

A Midsummer Night's Dream 夏の夜の夢

校長 佐藤 信雄

有名なウィリアム・シェイクスピア（*William Shakespeare* 英国 1564～1616）の作品に、『夏の夜の夢』（原題「*A Midsummer Night's Dream*」）という戯曲があります。演劇や映画やバレエの原作にもなっていますから、観た方もおいででしょうし、これから出会う方もおいででしょう。読んでも、観ても、とても楽しい作品です。興味のある人は、中学生むけの英語版も出版されています。（『レベル別 名作英語リーディングシリーズ A Midsummer Night's Dream ～夏の夜の夢～』）

ヨーロッパでは、夏至の日には妖精が地上に現れ祝祭をされると言われ、若い男女は森で恋を語ることを許される日でした。一年中で最も昼が長く、太陽の光に満ちた夏至。同時に最も夜の短い夏至。その短い短い夜に、妖精パックのうっかりとした取り違えから起こる男女の恋の悲喜劇を描いています。

緯度が高いヨーロッパ、特に北部は、冬は夜が長く、太陽の光をあまり浴びることができません。ですから夏になると、なかなか暮れない陽の光を少しでも味わおうと、人々は外に出て陽の光を楽しみます。厳しく暗い長い冬を経験する土地ならではの、夏の楽しみ方です。

作品の舞台となったアテナに限らず、ヨーロッパの夏至は気候もさわやかで暑からず寒からず、太陽の光をたくさん浴びることのできる、とりわけ人々には嬉しい時季です。また紹介したように、土地によってはお祭りも開かれ、恋の花も咲き、喜びと期待でいっぱいの時季です。

対照的に日本では、夏至は北海道を除いて梅雨の最中ですから、じめじめして暑苦しいものです。原題の「*Midsummer*」は当初は「真夏」と訳されましたが、日本で真夏というとジリジリと焼け付くように暑い7～8月をイメージしてしまい、作品の季節感とイメージに合わないとして、「夏の夜の夢」と訳されることとなったような。また男女の恋をめぐるお話のイメージから、その熱さをにじませるためにあえて「真夏の夜の夢」としたままの翻訳者もいるのだそうです。（このように翻訳は、たいへん奥が深い世界です。）

さて、皆さんの胸を期待でいっぱいにしてくれている、40日間に及ぼうかという長い夏休みですが、皆さんもよく知っている通り、終わってみればあっという間です。8月の末になって「ああ、何もしなかった」「まだやりたかったことがたくさん残っているのに」「宿題を早くやっておけばよかった」などと後悔した方も多かったのではないのでしょうか？ 今までの夏休みを振り返ってみて、いかがでしょうか？

「夏の夜の夢」では、妖精のパックが惚れ薬を間違えた相手に使ってしまったため、二組の恋人は大混乱となり、妖精王の妻は頭をロバにされた男に恋をしてしまいと、当人たちにとっては悲劇、観ている私たちにとっては喜劇が繰り広げられます。それでも最後は、恋人同士は元通り無事に結ばれることとなり、妖精の王と妻の仲も戻り、めでたしめでたしとなります。終わってみれば、あの涙も悲しさも滑稽な一時のこと、まるで短い夜の夢のような話だったと。とても洒落た物語です。さすがはシェイクスピアです。

生徒の皆さんも、この物語と同じように、夏休みの終わりに「めでたし、めでたし」と心から感じられるよう、計画的に、主体的に、生活し、学び、遊んでください。あなたの夏休みの主役は、だれでもないあなたです。そして夏休みの筋書きも、演出も、あなた次第でいくらかでも豊かにすることがかかっています。

最後に『夏の夜の夢』のラスト、妖精パックが観客にご挨拶をする場面を紹介し、終わりいたします。

ではよい夏休みを！ Have a good summer vacation！

「我ら役者は影法師。皆様方のお目ももし、お気に召さずば、ただ夢を見たと思ってお許しを。拙い芝居ではありますが、夢に過ぎないものですが、皆様方が大目に見、お咎めなくば身の励み。私パックは正直者、幸いにして皆様のお叱りなくば、私も励みますゆえ、皆様も見ていてやってくださいまし。それではおやすみなさいまし。皆様、お手を願います。パックがお礼を申します。」（小田島雄志 訳）

保護者の皆様へ 学校閉庁期間中の緊急連絡先について

8月9日(水)～16日(水)の間は、学校閉庁日となっており、教職員は出勤いたしません。この間、生徒の事故など緊急の事態が生じましたら、下記宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

日 中 多摩市教育委員会教育指導課 042-338-6913
夜 間 多摩市役所庁舎管理室 042-338-6855

図書館へ行こう！ 夏の図書祭り

7月10日(月)～13日(木)の昼休みに、図書館で図書祭りが開かれました。初日は恵泉女学園大学の恵泉平和紙芝居研究会KPKA(クプカ)から、赤上さんと加藤さんがおいでくださり、楽しい紙芝居を上演してくださいました。2日目は1年生、3日目は2年生、4日目は3年生が、KPKAの学生の方のご指導を活かしてそれぞれ紙芝居や朗読劇を上演しました。おかげで、童心に戻った楽しさを感じられた素敵な昼休みを過ごせました。

なお、8月5日(土)10:30からは、オープンしたての多摩市立中央図書館にてKPKAと多摩永中生の有志による合同の紙芝居発表『小・中・高校生が実演する「戦争と平和」(紙芝居上演会)』が予定されています。

皆様にはご多用とは存じますが、ぜひお運びいただき、ご覧ください。



赤上さんと加藤さん、ようこそ



さすが、朗読がお上手です



1年生の「ぐりとぐらの遠足」



大歓声を呼んだ3年生！

2年生マナー講座

7月11日(火)午後、第2学年はマナー教室を開催しました。田口明美装道礼法きもの学院からたくさんの講師の先生がおいでになり、賞状のいただき方、風呂敷のいろいろな使い方(包み方)、お箸の使い方を教えていただきました。適切な心遣いにもとづいた整ったマナーは、心に美しく感じられ、素敵なおもてなしに通じるものだと分かりました。講師の先生方、お暑い中、素敵なお着物でおいでいただき、行き届いたご講習をありがとうございます。2年生はこの成果を必ず実生活に生かしていってくださるでしょう！



風呂敷がこんなに便利なんて



いつ表彰されても安心！



お箸でお豆をつまみます

みなさん、SNSの使い方は大丈夫ですか？セーフティ教室



先生方も視聴し協議しました

7月12日(水)、スマホとSNSの使い方をテーマとした今年度のセーフティ教室が開かれました。KDDIの動画を参考に、生活指導主任の榎先生が講師を務めました。動画では、ネットやSNSにまつわる怖いケースの紹介もあり、その後、対策が解説されました。生徒の多くが中学校入学以前からスマホを所有しており、所有者の割合は87%を超えます。ですから、今回知った好ましくなく、危険な事例は、いつでも、だれにでも起こりうるものだと分かります。事前に生徒に取ったアンケートからは、家庭でのルールを設定することで、スマホ・SNS・ゲームに関する逸脱した使用が制限できることが分かりました。まだ家庭内でルールを取り決めていない場合は、夏休みを機会にぜひ保護者と生徒とで話し合っ規則を取り決め、安全に使用してください。

忘れないで夏休みの注意

SNSで知り合った人に、会いには行かない。

躍進する部活動 それ行け！たまなが中生！

敬称略

○バレーボール部

第7ブロック中学校バレーボール選手権大会 都大会進出決定

6月18日(日) 多摩永山○2-1●稲城四中
6月25日(日) 多摩永山○2-1●大坂上中 多摩永山●0-2○稲城二中
7月2日(日) 5-8位トーナメント
多摩永山●1-2○日大三中 多摩永山○2-0●松が谷中



気合の入った選手たち！

○家庭科部

7月8日(土) 田んぼの草取り in 小田良農園



部員の生徒7名、引率者、保護者の全員で力を合わせて田んぼの草取りをしました。良いお米が実るために欠かせない作業で、稲の養分を奪う雑草を抜き、田の泥をかき混ぜて稲の根に酸素を送りました。誰も泥の中に転ばず、無事終わることができました。6月に植えた苗が大きく育っていて株も増え、驚きました。この稲に負けないように、多摩永中生もすくすく育つ夏にしましょう！

○ソフトテニス部

ジュニアソフトテニス大会団体戦(多摩市中学生大会) 7月2日(日) 会場:多摩東公園テニスコート

男子 優勝 多摩永山中学校Aチーム 渡邊宗輝・増見陸太・佐藤風我・鈴木瑛人・小倉羽琉希・横井路真
3位 多摩永山中学校Bチーム 塚原琉輝・永井悠斗・宇夫一真・岩木悠馬・名波成杜・松下紘也
女子 優勝 多摩永山中学校Aチーム 高橋友香・奥谷琉奈・作増紀珀・齊藤遥・齊藤空・田中桃音
準優勝 多摩永山中学校Bチーム 晝間結菜・石井こまち・百瀬茉那・福島幸・萱原藍子・田中美羽

○女子バスケットボール部

令和5年度中学校バスケットボール交流大会 優勝 7月9日(日)

保護者の皆様へ 生徒の皆さんへ 生成AIの利用について

ここ数か月、特にChat GPTやBing Chat、Bardなどの対話型生成AIに関する報道がたくさんされています。教育活動における活用に触れた報道もあります。文部科学省も7月4日、「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を発表し、各学校にも下ろされました。文部科学省のHPのほか本校のHPにもアップしております。ぜひご一読ください。

本校では、夏季休業中の課題等において生成AIを利用する生徒もいる可能性があることから、暫定的に以下のご案内をいたします。生成AIの利用にあたっては、下記内容を十分ご理解のうえ、慎重にお願いいたします。

I 生成AIとは？

膨大な量の情報、言語モデルをもととして、指示文(プロンプト)に対するそれらしい応答・生成物を生成するものです。解答を生成するものではありません。自我や人格はなく、あくまでも人の発明した「道具」です。

2 生成AI利用時のリスク

- (1) 生成AIを使いこなし、的確な生成物を引き出すためには、的確な指示文(プロンプト)を作る習熟した能力と経験が必要です。学校のリテラシーもこれからです。現時点では限定的に利用すべきでしょう。
- (2) 生成AIの応答には、誤りが含まれている可能性が常にあり、信頼性には懸念(心配)があります。ですから最終的な真偽の判断は、自分自身の問題意識をもととして自分自身で行う必要があります。
- (3) 生成AIが膨大な情報から生成物を作成した際、それは著作権を侵害している危険性があります。同時に、作文・レポート・日誌・標語や絵画等のコンクールはまだ生成AIの利用を前提としておらず、著作権侵害の危険性があります。生成AIの生成物をそのまま自己の作品として提出しないでください。
- (4) 生成AIに自他の個人情報を入力すると、その情報が無限に保存、拡散される危険性が極めて高いので、あらゆる個人情報は生成AIには絶対に入力してはいけません。
- (5) 中学生が上記の生成AIを利用するには、保護者の許可が必要です。保護者の皆様には、生徒から申し出のあった際には、適切な判断と、監督をお願いいたします。生徒の皆さんはおうちの方に利用目的と内容を説明し、許可を得てから生成AIを利用することとなります。
- (6) 生徒の皆さんは生成AIの利用の前にもまず自分で知識を集め、学び、考え、追究し、創作してください。